

スイリュウヒバ
世楽院の垂柳檜葉～掛川市指定保存樹木～



天文元年心源盛智和尚を請うて清楽寺を開山。戦乱のため落城自決した霊を弔うため後生首塚として祀るも供養する者も途絶え災禍が村人に及んだため掛川城主松平越中守が清楽寺を城址に移し世楽院と改称した。

垂柳檜葉は、山門のすぐ後ろの釣鐘堂に寄り添うように植えられており、地上50cm位より3本に分かれた太い幹が天に向かって伸びている。枝葉が柳のように垂れ下がる姿は世楽院にふさわしく何故か優しさを感じさせてくれる。

保存樹木指定日／昭和59年4月4日
所在地／掛川市倉真2854（世楽院）
樹齢／約500年
幹周囲／4.7m
樹高／15.0m
樹種／ヒバ

